

スリランカ国
津波被害学校復旧計画
概略設計調査報告書

2006年1月

独立行政法人国際協力機構
無償資金協力部

無償

JR

05-090

スリランカ国
津波被害学校復旧計画
概略設計調査報告書

2006年1月

独立行政法人国際協力機構
無償資金協力部

序文

日本国政府は、スリランカ国政府の要請に基づき、同国の津波被害学校復旧計画にかかる概略設計調査を行うことを決定し、独立行政法人国際協力機構がこの調査を実施しました。

当機構は、平成17年2月2日から11月30日までの間、7回の現地調査団ならびに2回の概略設計説明調査団を現地に派遣しました。

調査団は、スリランカ政府関係者と協議を行うとともに、計画対象地域における調査を実施し、帰国後の国内作業を経て、ここに本報告書完成の運びとなりました。

この報告書が、本計画の推進に寄与するとともに、両国の友好親善の一層の発展に役立つことを願うものです。

終りに、調査にご協力とご支援をいただいた関係各位に対し、心より感謝申し上げます。

平成18年1月

独立行政法人国際協力機構
理事 小島 誠 二

伝達状

今般、スリランカ共和国における津波被害学校復旧計画概略設計調査が終了いたしましたので、ここに最終報告書を提出いたします。

本調査は、貴機構との契約に基づき弊社が、平成17年2月より平成18年1月までの12.0ヶ月にわたり実施いたしてまいりました。今回の調査に際しましては、スリランカの現状を十分に踏まえ、本計画の妥当性を検証するとともに、日本の無償資金協力の枠組みに最も適した計画の策定に努めてまいりました。

つきましては、本計画の推進に向けて、本報告書が活用されることを切望いたします。

平成18年1月

共同企業体
株式会社 毛利建築設計事務所
株式会社 久米設計
スリランカ国
津波被害学校復旧計画概略設計調査団
業務主任 杉浦 晃

No.1 ディーパンカラ校 Deepankara M.P.S.



計画実施前サイト状況(2005年2月)



同左



新設建物(管理棟:2005年11月)



新設建物(集会室棟:2005年11月)

No.2 クダウエラ校 Kudawella, Jayawickrema MV



既存被災校舎(2005年2月)



同左



移転先(建設前:2005年3月)



移転施設建設風景(2005年11月)

No.3 デオパテラージャ校 Devapathiraja MV 計画対象外



既存被災校舎(2005年2月)



同左



同上



同左

No.4 クマラカシャパ校 Kumara Kasyapa KV



既存被災校舎(2005年2月)



同左(瓦礫は撤去され基礎のみが残る)



移転先(既存校近隣の病院敷地内)



同左建設予定地

No.5 スリスマンガラ男子校 Sri Sumangala Boys School



既存校舎(2005年2月)



被災校舎(2005年2月)



軍跡地へ移転後の仮設教室(2005年10月)



新設校舎建設風景(2005年11月)

No.6 アガマティバリカ校 Agamathi Balika Vidyalaya 計画対象外



既存校舎(2005年2月)



同左



被災箇所(境界塀)



同左

No.7 ニューステット女子校 Newstead Girls School (当初要請校) 計画対象外



既存校舎(2005年2月)



同左



被災施設(2階建校舎・浸水)



被災施設(境界塀)

No.7 パヤガラ女子校 Payagala North R.C. Giral 計画対象校



既存被災校舎(2005年9月)



同左



移転先



同左